

こうえんへのかんばんせっちじぎょうほうこく

公園への看板設置事業報告 (2019年実施)

阿久比町商工会青年部

公園は、子供たちを中心に多くの町民の憩いの場として親しまれています。今回、公園に看板を設置したいと思ったきっかけは、青年部員の子供の「あの公園って何ていう名前なの？」の一言。町内の公園を調べてみると、表示がなく名前の分からないものや、看板があっても樹木やフェンスに隠れて見にくい場所があることがわかり、ひと目で公園名が分かる看板を取り付けたいという思いから本事業を実施しました。

【2種類の看板を作成】①は避難場所となる公園、②は避難場所以外の公園



(サイズ)
縦 300mm × 横 900mm

(材質)
アルミ複合板

【工夫したこと】

- ①災害時に避難場所に指定されている公園には、避難所のマークと公園名を赤色で表示しました。(避難場所以外の公園は青色表示)
- ②外国の方にも理解してもらうためローマ字でも表記してあります。
- ③フェンスのない公園もあったので、基礎をつくり杭を立てて設置しました。

【作業の様子】



【公園に設置した様子】



【事業の成果・部員の想い】

公園名は、地名に由来するものが多く、地名はその土地の地理的背景や歴史を反映しています。この取り組みにより歴史ある阿久比町に興味を持ってもらい、さらに防災の一助になればと願っています。

「住民税1%町民予算枠制度」わくわくコラボ事業 (令和元年度実施事業)

事業名：公園への看板設置事業

団体名：阿久比町商工会 青年部

